

平成 27 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

1. 学校概要

学校名 名古屋国際中学校・高等学校

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒 466-0841
愛知県名古屋市昭和区広路本町 1-16

E-mail junior@nihs.ed.jp

Website http://www.nihs.ed.jp

児童生徒数 男子 387 名 女子 383 名 合計 770 名
 児童・生徒の年齢 13 歳～18 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

『SOCIAL ACTION!』で持続可能な開発を担う人材育成プロジェクトと題して、生徒が社会的活動の実践を通して、将来持続可能な担い手となるための活動を行った。本校所在地の愛知県の地域性や、外国人教員や留学生が非常に多いという本校の特性を踏まえて、「多文化共生と減災」(社会文化的視点)、「経済活動と貧困」(経済的視点)、「社会生活と循環」(環境的視点)の3つの学習分野を設定し、総合的な学習の時間、教科教育及び課外活動にて探究学習を行った。

【総合的な学習の時間】

全校で総合的な学習の時間を同じ曜日・時間に設定し、全校において3分野に関わる学習を行った。担当教員が分野に関わるワークシートを作成し、統一教材を使用して担任が授業を行う形式と、外部講演の2種類で実施した。生徒の活動はポートフォリオ形式で保管・評価した。

○総合的な学習で扱った3分野のアクティビティ例

(多文化共生と減災)

「コンビニで被災!あなたならどうする?」「南海トラフ巨大地震を知ろう」

(経済活動と貧困)

「世界における貧困の基準、1日1.25\$を考える」「私たちの生活費調査」

(社会生活と循環)

「コンビニ弁当の中身はどこから来ているか」「フードマイレージを計算しよう」

○外部講演者

- ・池亀 美枝子 氏 (アフリカ連合開発機構総裁特別顧問)
- ・萬代好伸 氏 (東日本大震災語り部)



ワークシートに取り組む様子



外部公演の様子

【教科教育】

3分野を学習するにあたり、本校の既存の教育活動を「外国語」「異文化理解」「日本探究」の視点で分類・再編成し、生徒の国際的視野や公平・寛容な態度の育成を図った。教科教育においても、各教科で3分野に繋がる学習活動を計画し、実践した。

○教科教育における授業展開例

- ・世界一大きな授業 2015 の実施 (英語科)
- ・伊能忠敬に挑戦!-測量の実践- (社会科)



世界一大きな授業の様子

【課外活動】

総合的な学習の時間や教科教育における教育内容について、より深い実践に取り組む生徒を対象に、外部連携を踏まえた活動を行った。

○外部連携による生徒成果物

- ・外国人を利用対象とした防災用携帯トイレ「かわやん」の開発

「日本を訪れた外国人は、日本の災害について詳しく知らないのではないか」「被災した際に、日本人と外国人で入手可能な情報に差があるのではないか」という疑問から始まり、外国人に対して、防災式を高めるための携帯トイレの開発を行った。パッケージには日本語に加えて、英語、中国語、韓国語の4カ国語対応で説明を記載し、今後外国人と関わりのある、役所や空港などで配布を予定している。(連携先：株式会社まいにち)

- ・Kokusai Friend Coffeeの開発

本校が2010年度より実施しているフィリピン・マニラでの国際ボランティア研修では、現地のゴミ山で金属片を拾い生計をたてている人々に出会う。そこではNGOが成形向上の手段として、フェアトレードのぬいぐるみを女性に指導しており、本校では文化祭でその商品を毎年販売している。この一連の活動から、生徒自身が「自分たちでもフェアトレード商品が作りたい」という意思を持ち、県内のコーヒー店の協力を得て、Kokusai Friend Coffeeとして、フェアトレード豆を使用した独自のコーヒー商品を製作し、文化祭で販売した。(連携先：Aoyagi Coffee Factory)

- ・カーボンオフセットを利用したパッケージ製品の開発

私たちが日常生活を送る上では、生活における環境負荷を無視することは不可能であり、社会生活における二酸化炭素の輩出に着目した製品開発を行った。生徒は、カーボンオフセットの概念を理解しながら、パッケージ製品を作るにあたりかかる二酸化炭素を算出し、その概念を分かりやすく他者に伝えるべく工夫した。(連携先：株式会社ウエストボックス)



Kokusai Friend Coffee 活動



携帯トイレのパッケージ

○校外学習等で出会った人々

課外学習の一環として実施している校外学習において、「多文化共生と減災」「経済活動と貧困」「社会生活と循環」の3分野と関わりを持つ人々と生徒を積極的に繋げるべく、校外学習の学習先などを工夫した。

(校外学習で出会った人々)

- ・雨宮 清 氏 (株式会社日建社長、対人地雷除去機の開発と多くの講演活動を行っている)
- ・大山加奈 氏 (元アテネオリンピック選手、スポーツを通じた社会貢献活動)

実践している)

【今年度活動の成果】

○活動成果報告会の実施

- ・ Students and Global Leaders : Talking about Sustainable Development
(2015年11月5日実施)

JICA 産業技術教育研修で来校した外国人研修生の方々に対して、本校の取組を生徒が発表した。

- ・ Social Action ! Cafe (2016年2月12日実施)

大学教員、今年度連携した外部組織、県内の教育関係者、本校生徒保護者に対して、本校の取組を生徒が発表した。



JICA 研修生とのアクティビティ



ポスターセッションの様子

○生徒によるポスター発表・プレゼンテーション

- ・ 高校生と大学生の探究成果ポスター発表会 (主催: 京都大学 E-FORUM)
- ・ ユネスコスクール交流会 (主催: 愛知県教育委員会)
- ・ 持続可能な社会に向けた「産業技術教育」のための国際会議 (主催: ICITE for SD-2015 実行委員会)



ユネスコスクール交流会での発表



国際会議での発表

○受賞実績 (生徒)

- ・ 第9回全国高校模擬国連大会2チーム出場 (主催: Global Classrooms)
- ・ キャリア甲子園2015優勝 (主催: 株式会社マイナビ)
- ・ JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト佳作

○受賞実績 (学校)

- ・ JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト学校賞
- ・ 第2回ESD日本ユース・コンファレンス (教員1名参加、主催: 五井平和財団)
- ・ JICA グローバル教育コンクールグローバル教育取り組み部門入選

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）